

早稲田大学・商学部

<早稲田大・商学部 傾向と対策>

【出題内容】

<早稲田大・商 傾向と対策> 「長文の顔をした受験英語デパート」 英語が得意なら満点も夢ではない！

□ 2008～2016まで傾向変化ほぼなし:①会話文 ②長文 ③長文 ④長文 ⑤長文

| | 2016 | 2015 | 2014 | 2013 | 2012 | 2011 | 2010 | 2009 | 2008 |
|-----------------|------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 英文和訳問題 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 |
| 指示語・内容など日本語記述問題 | 2 | 1 | 2 | 1 | | 1 | | | 1 |
| 和文英訳(英作文) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| 空所補充問題 | 15 | 13 | 17 | 18 | 21 | 17 | 12 | 16 | 12 |
| 同意文・同意語句選択問題 | 20 | 19 | 23 | 16 | 17 | 18 | 15 | 12 | 11 |
| 文法的な用法などを問う問題 | | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| 書き出し文完成・内容真偽問題 | 20 | 17 | 12 | 13 | 9 | 14 | 18 | 21 | 25 |
| 指示語抜き出し・選択問題 | | | 1 | 4 | 4 | 1 | 1 | | |
| タイトル選択問題 | 1 | 2(見出し) | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 整序問題 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 発音・アクセント問題 | | | | | | | | 1 | 1 |

中心となっているのは、空所補充問題、同意文・同意語句選択問題、内容真偽問題(TFや書き出し完成)の3パターンの問題。私大としては珍しく、和訳問題・英作文問題・内容に関する記述問題などが出題される。文法については誤文訂正や空所補充などのオーソドックスな形式は見当たらず、整序問題も早稲田・政経のようにレギュラーで出題される訳ではない。ただ、分詞構文の文頭のBeingの省略を答えさせたり、canの用法を聞くなど、文法知識を直接聞く問題の出題も見られる。一言でいえば、「河合塾や駿台、ベネッセなどの模擬試験タイプの学力が反映されやすい標準レベルのオールラウンドな試験」と言える。

会話問題 文・文化構想ほどではないが、選択肢のグルーピングによって選択肢の分母を減らすのがセオリー。ただ、時間配分的に、あまり丁寧に解いている暇はない。近年は第一問で出題されている。口語表現も見られるが、全体的に難しい問題はない。得点源にしたい問題。

長文問題 4題出題される。和訳・英作などの記述問題もあるが、レベルはかない易しいので部分点狙いの答案ではなく満点をきっちり取れる解答を心がけたい。怖いのはミス。早稲田・政経と同様、それぞれの大問で特徴的な問題の出題があるわけではなく、どの長文でも似たような形式で英語の知識と読解力を問われる。

物語文が出題された年度もあるが、ほとんどが実学系の分野の時事英語。ただ、英文は読みやすいし、細部が理解出来ていなくても、問題は素直なので、難しくはない。

長文問題出典: *New York Times, The Wall Street Journal, USA Today, The Washington Post, Reader's Digest, Los Angeles Times* など有名どころの時事英語からの出題が目立つ(というかほとんど)。ただ、原文そのままではなく、リライトされているケースが多く、読み易い。スマホでも読める時代なので、興味が湧く分野の記事に普段から触れておくとうい。

他学部・他大学の問題との相関

早稲田・商独自のオリジナリティーは見られず、文理を問わず、どの私大でも見られる出題形式。他大学の対策とかぶる部分が多いので、併願はしやすい学部と言える。受験生レベルも問題レベルもそれほど高くないので、早稲田の中では文化構想や教育と並んで入りやすい学部。

英作文や和訳などの問題も出題されるが、国公立難関大レベルには程遠いので、早稲田・商の英語が国公立対策になるとは言い難い。ただ、国公立難関レベル受験生なら相当易しく感じるはずなので、中央大・法や津田塾大などを併願するよりは、英語の記述問題は楽なはず。

- ① **まずは会話問題の攻略を！ 易しいことを丁寧にやれる学習が必要！**
- ② **和訳問題・内容に関する記述問題の難易度は高くないが、確実に答えられるように訓練が必要！**
- ③ **受験生平均が高くないでも、慶應と違って合格点は高いので注意！**
<合格最低点> 2012: 63.2% 2013:63.7% 2014:63.4% [63%台で安定]
<受験者平均> 2012: 46.9% 2013:47.6% 2014:47.0%
- ④ **形式は長文だが、問題は文法・和訳・英作・簡単な記述・語彙・熟語など「受験英語のデパート」**
- ⑤ **受験生レベルは法や政経に比べると落ちる。難問が少なく、基礎～標準レベルの素直な問題が多いので「模擬試験学力」がそのまま反映されやすいタイプの問題(もちろん対策は必要だが)。**
- ⑥ **会話文 300 語前後、長文は4題で 2000 語程度なので、速読力はそれほど必要ない。**
- ⑦ **早稲田は 3 教科バランスが勝負！ 英語だけ得意では勝負出来ない！**
- ⑧ **理想的な解答時間は① 10～15 分③④⑤各 18 分程度＋見直し8分。**
- ⑨ **英語が得意なら最低でも 7 割以上(9 割近い高得点も可能)、苦手でも 6 割前後は欲しい。**